

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般県道 <small>さわだみつくり</small> 沢田御作線				
事業箇所	豊田市 <small>きたさきだいら</small> 北篠平町				
事業のあらまし	<p>一般県道沢田御作線は、県道瀬戸設楽線（豊田市御作町）と県道土岐足助線（豊田市沢田町）を結ぶ生活幹線道路である。</p> <p>当該事業区間は、幅員狭隘のため車のすれ違いが困難な状況であり、あわせて線形が不良なことから見通しが悪く、円滑な通行の支障となっている。</p> <p>このため、道路改良事業により現道拡幅、線形改良を行い、山間地域の道路網形成を促すとともに、安全で安心な生活基盤の向上を図るものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>「あいち社会資本整備方針2025 11の取組方針」より</p> <p>① 山間・離島対策の推進（山間地域の暮らしを支える交通ネットワークの強化）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2019年度)	再評価時 (2025年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2020年度 ～2023年度	2020年度 ～2026年度	・用地交渉の長期化	
	事業費（億円）	2.3	3.2		
	経費内訳	工事費	2.0	2.7	・資機材及び労務単価の上昇 (+1.0億円) ・評価額の精査による用補費の減 (-0.1億円)
		用補費	0.2	0.1	
その他		0.1	0.4		
事業内容	現道拡幅 延長 : L=0.4km 車線数 : 完成2車線 幅員 : W=7.5m	現道拡幅 延長 : L=0.4km 車線数 : 完成2車線 幅員 : W=7.5m			
II 評価					
① 事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>① 山間・離島対策</p> <p>・当該事業区間は、山間部における生活幹線道路であるが、幅員狭隘により車のすれ違いが困難な状況にある。また、現道の線形不良により視距が悪く、交通安全上の課題がある。これらの課題を解消するため、現道拡幅し線形を改善する道路改良工事を行う必要がある。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>① 山間・離島対策の推進（山間地域の暮らしを支える交通ネットワークの強化）</p> <p>・事前評価時から大きな変動はなく、依然として幅員狭隘により車のすれ違いが困難であり、線形不良により視距不良も解消されていないことから、本事業の必要性は高い状況である。</p>			

		【理由】 ・ 阻害要因がなく、2026 年度までに整備完了が見込まれるため。
Ⅲ 対応方針		
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 【主な評価内容】 道路拡幅による交通の円滑化状況、視距確保による交通安全性の向上状況。		